



TITLE:

表紙・投稿規定・編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1979, 32(6): 523-528

ISSUE DATE:

1979-09-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/89858>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和54年9月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第32巻 第6号

vol. 32 no. 6

物性研究

1979/9

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように処置をとって下さい。上ツキ、下ツキ、英字の大、花文字、ギリシャ文字、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv等を赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるものを原稿に添えて下さい。図の縮尺、拡大は致しません。1頁(13×19cm²)以内に入らない図、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図、表の説明は別紙に書き、本文中に挿入位置を赤で明示して下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. **別刷は原則として作りません。**どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b)x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月10日で原則として次月発行誌に掲載されます。

ニュース

[東京大学物性研]

。研究会（テーマ）

6月28～29日

“バンド理論の現状と将来”

。談話会（題目）

5月28日 “超イオン伝導体の光散乱”

潮田 資勝 (Univ. of Calif. – Irvine)

6月18日 “インターカレーション化合物の合成と物性”

山中 昭司 (広 大 工)

6月20日 “Static Critical Properties of Fluid Helium”

Prof. Horst Meyer (Duke Univ.)

6月25日 “核融合研究開発の現状と展望”

関口 忠 (名大, プラズマ研)

。土曜セミナー（題目）

5月19日 “二次元X-Y模型のモンテ・カルロ”

宮下 精二 (東 大・理)

5月26日 “非平衡超伝導体における不均一状態”

飛田 和男 (東 大・理)

6月 2日 “原子核における π -中間子凝縮”

矢崎 紘一 (東 大・理)

6月 9日 “Photo-Magneto-Electric Effect”

中里 和郎 (東 大・理)

6月23日 “非対称アンダーソン模型の基底状態

— s-d 混成項についての摂動 —”

稲垣 睿 (物 性 研)

ニュース

6月30日 “金属微粒子の超伝導”

川 畑 有 郷 （学習院大・理）

[東京大学教養物理]

◦談話会（題目）

Prof. Flashha（アリゾナ大）： Solitons in the non-linear lattice

◦セミナー（題目）

氷 上 ： 準二次元系の相転移

高 田 ： Medianism of Superconductivity in Digenerated
Semiconductor

プレプリント案内

[東大・久保研]

- (59) 2. Susumu Kurihara, Hidetoshi Fukuyama and Sadao Nakajima
A Model for Elastic Anomalies in $\text{K}_2\text{Pt}(\text{CN})_4\text{Br}_{0.3} \cdot 3\text{H}_2\text{O}$
- (57) 2. M. J. Rice and J. Timonen
Insulator-to-metal Transition in Doped Polyacetylene
- (58) 3. Satoru Inagaki
Ground State of the Asymmetric Anderson Model – Perturbation Approach
with Respect to the Mixing Integral –
- (59) 5. Yasuyuki Kurata
Analytic Investigation of the Kondo Effect in Highly Concentrated Magnetic
Alloys
- (60) 10. M. Tachiki and A. Kotani
Spin-Spiral Ordering in Magnetic Superconductors
- (61) 10. N. G. van Kampen
Stochastic Description of Many-body Systems
- (62) 11. Miki Wadati and Katurō Sawada
New Representations of the Soliton Solution for the Korteweg-de Vries
Equation
- (63) 11. D. J. Amit, Y. Y. Goldschmidt and G. Grinstein
Renormalization Group Analysis of the Phase Transition in the 2D Coulomb
Gas, Sine-Gordon Theory and XY-Model
- (64) 12. Masaki Aihara
Transient Polarization Effects of Resonance Raman Scattering in a Linearly-
Coupled Localized-Electron Phonon System
- (65) 13. Y. Miyako, S. Chikazawa, T. Saito and Y. G. Yuochunas
Critical Phenomena of Spin Glass: Observation of nonlinear susceptibility in
 $(\text{Ti}_{1-x}\text{V}_x)_2\text{O}_3$ single crystals
- (66) 13. Y. Miyako, S. Chikazawa, T. Saito, and Y. G. Yuochunas
Dynamic Susceptibility of a Spin Glass Compound $(\text{Ti}_{0.9}\text{V}_{0.1})_2\text{O}_3$

プレプリント案内

- (67) 16. P.D. Drummond and C.W. Gardiner
Generalised P-Representations in Quantum Optics
- (68) 16. Salvatore J. Lalama and Anthony F. Garito
Origin of the Nonlinear Second Order Optical Susceptibilities of Organic Systems
- (69) 21. Takahiko Oguchi and Takuma Ishikawa
Random Mixture with Competing Exchange Energies and Competing Anisotropy Energies
- (70) 23. Yoshikazu Suzumura
The Density of States of the Tomonaga-Luttinger Model
- (71) 23. Yuhei Natsume, Fumiyoshi Sasagawa, Masaaki Toyoda and Isao Yamada
Dynamic Effect of Low-Symmetric Distribution of Spins on EPR Lines in One-Dimensional Magnetic Systems. I. Theory and Experiment in TMMC
- (72) 23. Isao Yamada and Yuhei Natsume
Dynamic Effect of Low-Symmetric Distribution of Spins on EPR Lines in One-Dimensional Magnetic Systems. II. Enhancement by Cu-doping in TMMC
- (73) 30. Hiroshi Furukawa
Structure Functions of Quenched Off-Critical Binary Mixtures and Renormalizations of Mobilities
- (74) 30. Hiroshi Furukawa
Structure Functions of Quenched Off-Critical Binary Mixtures and Positive Gaps in Susceptibilities
- (75) 30. V. Balakrishnan
Fluctuations and Viscoelasticity
- (76) 30. Susumu Kamada, Yukihide Kamiya and Motohiro Kihara
Lattice of Photon Factory Storage Ring
- (77) 30. K. Kikkawa and Masaaki Sato
A Semi-Classical Approach to the Boson-Fermion System
- (78) 30. Yukihide Kamiya
Computational Method for the Dispersion, Betatron Functions and C.O.D.

in Nonlinear Lattice

- (79) 30. Sadataka Furui and Tetsuyuki Yukawa
Importance of the Short Range Correlation in Proton-Nucleus Backward Scattering
- (80) 30. Taizo Muta
Quantum Chromodynamics and Deep Inelastic $e-N$ Scattering at Tristan
- (81) 30. Hisashi Kobayakawa, Koji Takata and Isao Toyama
Performance Tests of Crowbar Circuit for Klystron Protection

編 集 後 記

京都は蒸し暑い毎日が続きます。はじめて経験する京都の夏だというのでもないのに、京都の夏とはこんなにも暑いものであったか、と再認識させられる毎日です。物性研究の発行の遅れはあい変わらずで、この号が出るのもすっかり秋が深まった頃に違いはないのですが、そうは思っても、まず、暑いですね、と書き始めたくなるこの暑さなのです。

この号には Prof. Cohen の日本印象記を載せることができました。米沢さんの書いた“はしがき”にもありますように、Prof. Cohen はこの1月から6月まで、ちょうど半年基研に滞在されました。6月の末、日本を離れる準備にお忙しい時期に、時間をさいていただいてできたものです。基研滞在中、いろいろ雑談などしていて私たちの感じたのは、Prof. Cohen の観察眼のするどさでした。この印象記にもその一部が見られるように思います。二、三 私などには気になる指摘があるのですが、読者の皆さんはどう感じられたでしょうか、御意見がありましたらお寄せいただきたいと思います。

(Y. N)

物 性 研 究

第 32 卷 第 6 号
1979 年 9 月 20 日発行

| | |
|-----|--|
| 発行人 | 長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内 |
| 印刷所 | 昭 和 堂 印 刷 所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL (441) 1659 (431) 4789 |
| 発行所 | 物 性 研 究 刊 行 会 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内 |

編 集 後 記

京都は蒸し暑い毎日が続きます。はじめて経験する京都の夏だというのでもないのに、京都の夏とはこんなにも暑いものであったか、と再認識させられる毎日です。物性研究の発行の遅れはあい変わらずで、この号が出るのもすっかり秋が深まった頃に違いはないのですが、そうは思っても、まず、暑いですね、と書き始めたくなるこの暑さなのです。

この号には Prof. Cohen の日本印象記を載せることができました。米沢さんの書いた“はしがき”にもありますように、Prof. Cohen はこの1月から6月まで、ちょうど半年基研に滞在されました。6月の末、日本を離れる準備にお忙しい時期に、時間をさいていただいてできたものです。基研滞在中、いろいろ雑談などしていて私たちの感じたのは、Prof. Cohen の観察眼のするどさでした。この印象記にもその一部が見られるように思います。二、三 私などには気になる指摘があるのですが、読者の皆さんはどう感じられたでしょうか、御意見がありましたらお寄せいただきたいと思います。

(Y. N)

物 性 研 究

第 32 卷 第 6 号
1979 年 9 月 20 日発行

| | |
|-----|--|
| 発行人 | 長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内 |
| 印刷所 | 昭 和 堂 印 刷 所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL (441) 1659 (431) 4789 |
| 発行所 | 物 性 研 究 刊 行 会 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内 |